

# 令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	岐阜県総合医療センター	2
-	多治見病院	3
-	下呂温泉病院	4
岐阜市	岐阜市民病院	5
大垣市	大垣市民病院	6
多治見市	多治見市民病院	7
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8
美濃市	美濃病院	9
羽島市	羽島市民病院	10
恵那市	市立恵那病院	11
恵那市	国民健康保険上矢作病院	12
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	13
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	14
郡上市	郡上市民病院	15
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	16
下呂市	下呂市立金山病院	17
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	18
東白川村	国保病院	19

東濃中部病院事務組合 公立東濃中部医療センター 20

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	岐阜県総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	859,178,419	
標準財政規模(千円)	490,011,911	
財政力指数	0.52105	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	223.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	112,390			
1 経常収益	112,390			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	112,390			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	112,390			
2 経常費用	112,390			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	112,390			
(うち支払利息)	112,390	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,927,549			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	多治見病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	859,178,419	
標準財政規模(千円)	490,011,911	
財政力指数	0.52105	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	223.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,292			
1 経常収益	31,292			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	31,292			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	31,292			
2 経常費用	31,292			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,292			
(うち支払利息)	31,292	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	1,387,799			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	下呂温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	859,178,419	
標準財政規模(千円)	490,011,911	
財政力指数	0.52105	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	223.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,233			
1 経常収益	4,233			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,233			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,233			
2 経常費用	4,233			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,233			
(うち支払利息)	4,233	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	48,340			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	80.9

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		岐阜市			
病院名		岐阜市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	56,541 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	515	80.1	81.2	86.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	59.0	60.5	62.2
感染症	-	-	-	-
計	565	78.2	79.4	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.7	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	402,557	
決算規模(千円)	181,350,993	
標準財政規模(千円)	90,150,909	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,135,336			
1 経常収益	23,135,336			
(1) 医業収益	21,043,731			
(うち修正医業収益)	20,706,986			
入院収益	13,210,510			
外来収益	7,155,203			
診療収入計	20,365,713			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	678,018			
(うち他会計負担金)	336,745			
(2) 医業外収益	2,091,605			
(うち国・都道府県補助金)	158,292			
(うち他会計補助・負担金)	866,886			
(うち長期前受金戻入)	755,661			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,681,955			
2 経常費用	23,681,955			
(1) 医業費用	22,339,969			
職員給与費	10,253,872	48.7	58.7	51.4
材料費	7,005,823	33.3	26.9	32.6
(うち薬品費)	5,225,975	24.8	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,762,654	8.4	11.7	13.9
減価償却費	1,249,916	5.9	8.5	7.4
経費	3,622,124	17.2	21.5	16.9
(うち委託料)	2,171,089	10.3	11.5	10.0
研究研修費	83,079			
資産減耗費	125,155			
(2) 医業外費用	1,341,986			
(うち支払利息)	71,552	0.3	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損失	-546,619			
純損失	-546,619			
累積欠損金	852,372			
経常収支比率	97.7		96.5	97.6
医業収支比率	94.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	92.7		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.6		85.4	90.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	26,628,216
1 固定資産	15,384,607
(1) 有形固定資産	13,952,500
(2) 無形固定資産	850,766
(3) 投資その他の資産	581,341
2 流動資産	11,243,609
(1) 現金及び預金	7,477,776
(2) 未収金及び未収収益	3,646,629
(3) 貸倒引当金( )	19,727
(4) 貯蔵品	138,931
3 繰延資産	-
負債合計	22,311,704
1 固定負債	11,127,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,416,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,710,379
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,887,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,244,900
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	673,046
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,896,605
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,297,134
(1) 長期前受金	15,085,465
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,788,331
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,316,512
1 本金	4,707,236
2 剰余金	-390,724
(1) 資本剰余金	16,200
(2) 利益剰余金	-406,924
負債・資本合計	26,628,216
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,203,631	1,203,631
資本勘定繰入	671,931	671,931
計	1,875,562	1,875,562

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		大垣市			
病院名		大垣市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,046 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	771	72.0	69.5	67.6
療養	-	-	-	-
結核	40	10.6	17.5	20.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	18.4	64.2	46.9
計	817	68.6	67.0	65.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.8	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	158,286	
決算規模(千円)	64,365,208	
標準財政規模(千円)	37,715,417	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	9.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	35,330,434				
1 経常収益	35,327,881				
(1) 医業収益	34,288,168				
(うち修正医業収益)	34,288,168				
入院収益	19,869,096				
外来収益	13,985,554				
診療収入計	33,854,650				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	433,518				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	1,039,713				
(うち国・都道府県補助金)	384,762				
(うち他会計補助・負担金)	316,024				
(うち長期前受金戻入)	68,062				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,553				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	35,320,641				
2 経常費用	35,023,077				
(1) 医業費用	33,002,049				
職員給与費	13,837,498	40.4	58.7	51.4	
材料費	13,556,824	39.5	26.9	32.6	
(うち薬品費)	8,719,161	25.4	14.8	18.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,662,778	13.6	11.7	13.9	
減価償却費	1,459,367	4.3	8.5	7.4	
経費	4,034,818	11.8	21.5	16.9	
(うち委託料)	2,341,869	6.8	11.5	10.0	
研究研修費	90,699				
資産減耗費	22,843				
(2) 医業外費用	2,021,028				
(うち支払利息)	77,579	0.2	0.9	0.8	
(3) 特別損失	297,564				
損益	304,804				
純損益	9,793				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.9		96.5	97.6	
医業収支比率	103.9		86.0	91.7	
修正医業収支比率	103.9		83.2	89.8	
他会計繰入金対経常収益比率	0.9		11.5	7.2	
他会計繰入金対医業収益比率	0.9		13.7	8.1	
他会計繰入金対総収益比率	0.9		11.5	7.2	
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,072,890
1 固定資産	19,766,040
(1) 有形固定資産	17,426,453
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,339,143
2 流動資産	34,306,850
(1) 現金及び預金	27,891,510
(2) 未収金及び未収収益	6,216,507
(3) 貸倒引当金( )	104,949
(4) 貯蔵品	303,782
3 繰延資産	-
負債合計	11,137,656
1 固定負債	6,500,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,507,405
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,955,659
(6) リース債務	37,026
2 流動負債	3,946,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,064
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	841,000
(6) リース債務	26,136
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,778,147
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	691,219
(1) 長期前受金	1,677,506
(2) 長期前受金収益化累計額( )	986,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	42,935,234
1 資本金	22,668,172
2 剰余金	20,267,062
(1) 資本剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	20,117,953
負債・資本合計	54,072,890
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	751,859	316,024
資本勘定繰入	750,838	172,874
計	1,502,697	488,898

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		多治見市			
病院名		多治見市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,779 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	250	67.9	75.4	73.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	67.9	75.4	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.5	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	106,732	
決算規模(千円)	40,778,465	
標準財政規模(千円)	24,232,639	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-3.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	618,602			
1 経常収益	618,602			
(1) 医業収益	83,137			
(うち修正医業収益)	8,228			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	83,137			
(うち他会計負担金)	74,909			
(2) 医業外収益	535,465			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	320,967			
(うち長期前受金戻入)	191,474			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	632,098			
2 経常費用	632,098			
(1) 医業費用	575,519			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	172,384	207.3	8.5	9.3
経費	383,253	461.0	21.5	28.2
(うち委託料)	8,618	10.4	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	19,882			
(2) 医業外費用	56,579			
(うち支払利息)	41,442	49.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-13,496			
純損益	-13,496			
累積欠損金	1,714,554			
経常収支比率	97.9		96.5	93.2
医業収支比率	14.4		86.0	81.2
修正医業収支比率	1.4		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	64.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	476.2		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	64.0		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	35.2		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,075,521
1 固定資産	5,551,040
(1) 有形固定資産	5,434,904
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	113,230
2 流動資産	524,481
(1) 現金及び預金	360,676
(2) 未収金及び未収収益	163,805
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,660,077
1 固定負債	3,209,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,159,445
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,792
(6) リース債務	-
2 流動負債	246,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,639
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,203,933
(1) 長期前受金	3,138,797
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,934,864
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,415,444
1 本金	1,693,432
2 剰余金	-277,988
(1) 資本剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,714,554
負債・資本合計	6,075,521
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,001	395,876
資本勘定繰入	139,061	139,061
計	339,062	534,937

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2062.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	中津川市				
病院名	総合病院 中津川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,973 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	316	62.9	61.1	65.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	316	62.9	61.1	65.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.1	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	76,570	
決算規模(千円)	45,243,842	
標準財政規模(千円)	24,215,367	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,461,121			
1 経常収益	8,461,121			
(1) 医業収益	7,603,222			
(うち修正医業収益)	7,412,751			
入院収益	4,865,952			
外来収益	2,232,364			
診療収入計	7,098,316			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	504,906			
(うち他会計負担金)	190,471			
(2) 医業外収益	857,899			
(うち国・都道府県補助金)	211,932			
(うち他会計補助・負担金)	563,907			
(うち長期前受金戻入)	30,215			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,693,074			
2 経常費用	8,668,582			
(1) 医業費用	8,280,276			
職員給与費	4,305,502	56.6	58.7	59.2
材料費	1,798,268	23.7	26.9	26.1
(うち薬品費)	881,330	11.6	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	916,938	12.1	11.7	11.1
減価償却費	517,504	6.8	8.5	8.5
経費	1,625,529	21.4	21.5	21.3
(うち委託料)	1,012,335	13.3	11.5	11.7
研究研修費	17,737			
資産減耗費	15,736			
(2) 医業外費用	388,306			
(うち支払利息)	24,957	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	24,492			
損益	-207,461			
純損益	-231,953			
累積欠損金	6,868,192			
経常収支比率	97.6		96.5	95.9
医業収支比率	91.8		86.0	86.4
修正医業収支比率	89.5		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	88.9		85.4	86.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,056,990
1 固定資産	4,963,234
(1) 有形固定資産	4,433,262
(2) 無形固定資産	1,754
(3) 投資その他の資産	528,218
2 流動資産	4,093,756
(1) 現金及び預金	2,699,874
(2) 未収金及び未収収益	1,265,038
(3) 貸倒引当金( )	697
(4) 貯蔵品	126,541
3 繰延資産	-
負債合計	5,218,666
1 固定負債	3,552,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,830,847
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,716,066
(6) リース債務	5,658
2 流動負債	1,420,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	383,158
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	395,674
(6) リース債務	5,293
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	599,945
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	245,187
(1) 長期前受金	964,399
(2) 長期前受金収益化累計額( )	719,212
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,838,324
1 本金	10,677,383
2 剰余金	-6,839,059
(1) 資本剰余金	29,133
(2) 利益剰余金	-6,868,192
負債・資本合計	9,056,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	748,235	754,378
資本勘定繰入	287,449	287,449
計	1,035,684	1,041,827

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		美濃市			
病院名		美濃病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,289 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	122	86.7	86.2	85.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	86.7	86.2	85.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	12.5	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	19,247	
決算規模(千円)	10,684,510	
標準財政規模(千円)	6,091,635	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	6.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,759,570			
1 経常収益	2,759,570			
(1) 医業収益	2,603,453			
(うち修正医業収益)	2,587,035			
入院収益	1,660,475			
外来収益	715,541			
診療収入計	2,376,016			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	227,437			
(うち他会計負担金)	16,418			
(2) 医業外収益	156,117			
(うち国・都道府県補助金)	92,500			
(うち他会計補助・負担金)	34,767			
(うち長期前受金戻入)	10,520			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,826,272			
2 経常費用	2,809,166			
(1) 医業費用	2,674,870			
職員給与費	1,282,517	49.3	58.7	67.7
材料費	317,524	12.2	26.9	18.3
(うち薬品費)	152,163	5.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	165,361	6.4	11.7	9.1
減価償却費	209,933	8.1	8.5	10.3
経費	857,566	32.9	21.5	29.4
(うち委託料)	432,789	16.6	11.5	13.6
研究研修費	4,642			
資産減耗費	2,688			
(2) 医業外費用	134,296			
(うち支払利息)	26,350	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	17,106			
損益	-49,596			
純損益	-66,702			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.2		96.5	95.4
医業収支比率	97.3		86.0	79.1
修正医業収支比率	96.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	1.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	2.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	1.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	96.4		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,008,096
1 固定資産	4,018,690
(1) 有形固定資産	3,711,940
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	306,538
2 流動資産	2,989,406
(1) 現金及び預金	2,634,375
(2) 未収金及び未収収益	353,021
(3) 貸倒引当金( )	3,592
(4) 貯蔵品	5,602
3 繰延資産	-
負債合計	2,624,005
1 固定負債	1,955,550
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,955,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	572,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	262,983
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,660
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	226,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	96,047
(1) 長期前受金	221,892
(2) 長期前受金収益化累計額( )	125,845
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,384,091
1 本金	3,933,197
2 剰余金	450,894
(1) 資本剰余金	208,459
(2) 利益剰余金	242,435
負債・資本合計	7,008,096
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	56,127	51,185
資本勘定繰入	235,603	163,019
計	291,730	214,204

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		羽島市			
病院名		羽島市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,158 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	271	67.0	66.9	60.7
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	64.7	64.5	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	12.4	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	65,649	
決算規模(千円)	24,994,929	
標準財政規模(千円)	14,268,409	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,304,073			
1 経常収益	5,298,141			
(1) 医業収益	4,551,554			
(うち修正医業収益)	4,387,891			
入院収益	2,957,076			
外来収益	1,298,981			
診療収入計	4,256,057			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	295,497			
(うち他会計負担金)	163,663			
(2) 医業外収益	746,587			
(うち国・都道府県補助金)	246,502			
(うち他会計補助・負担金)	365,245			
(うち長期前受金戻入)	110,338			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,932			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,138,039			
2 経常費用	6,092,939			
(1) 医業費用	5,856,372			
職員給与費	3,139,569	69.0	58.7	63.9
材料費	781,448	17.2	26.9	21.1
(うち薬品費)	437,917	9.6	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	334,107	7.3	11.7	10.2
減価償却費	370,124	8.1	8.5	9.3
経費	1,537,832	33.8	21.5	28.2
(うち委託料)	744,389	16.4	11.5	14.0
研究研修費	19,936			
資産減耗費	7,463			
(2) 医業外費用	236,567			
(うち支払利息)	19,224	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	45,100			
損益	-794,798			
純損益	-833,966			
累積欠損金	3,936,035			
経常収支比率	87.0		96.5	93.2
医業収支比率	77.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	74.9		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	10.0		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	78.3		85.4	80.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,814,864
1 固定資産	3,871,675
(1) 有形固定資産	3,658,408
(2) 無形固定資産	197,266
(3) 投資その他の資産	16,001
2 流動資産	943,189
(1) 現金及び預金	184,509
(2) 未収金及び未収収益	730,703
(3) 貸倒引当金( )	928
(4) 貯蔵品	28,905
3 繰延資産	-
負債合計	2,688,601
1 固定負債	1,566,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,265,471
(2) その他の企業債	281,098
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	19,645
2 流動負債	1,041,177
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	346,347
(2) その他の企業債	18,902
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	220,388
(6) リース債務	52,906
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	387,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	81,210
(1) 長期前受金	495,857
(2) 長期前受金収益化累計額( )	414,647
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,126,263
1 本金	6,053,124
2 剰余金	-3,926,861
(1) 資本剰余金	9,174
(2) 利益剰余金	-3,936,035
負債・資本合計	4,814,864
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	529,092	528,908
資本勘定繰入	166,831	167,102
計	695,923	696,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	86.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	32,739
地財法上の資金不足比率(%)	0.7

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		市立恵那病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,063 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	教 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	57.8	58.4	58.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	57.8	58.4	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	9.6	9.0

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	29,664,124	
標準財政規模(千円)	17,627,424	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	419,464			
1 経常収益	419,464			
(1) 医業収益	143,415			
(うち修正医業収益)	6,784			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	143,415			
(うち他会計負担金)	136,631			
(2) 医業外収益	276,049			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	193,712			
(うち長期前受金戻入)	36,372			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	783,294			
2 経常費用	783,294			
(1) 医業費用	719,827			
職員給与費	17,487	12.2	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	459,486	320.4	8.5	10.3
経費	200,717	140.0	21.5	29.4
(うち委託料)	12,676	8.8	11.5	13.6
研究研修費	506			
資産減耗費	41,631			
(2) 医業外費用	63,467			
(うち支払利息)	28,193	19.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-363,830			
純損失	-363,830			
累積欠損金	2,501,357			
経常収支比率	53.6		96.5	95.4
医業収支比率	19.9		86.0	79.1
修正医業収支比率	0.9		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	78.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	230.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	78.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	11.4		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,608,791
1 固定資産	6,985,725
(1) 有形固定資産	6,352,227
(2) 無形固定資産	192,936
(3) 投資その他の資産	440,562
2 流動資産	3,623,066
(1) 現金及び預金	2,896,668
(2) 未収金及び未収収益	714,795
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,603
3 繰延資産	-
負債合計	4,495,811
1 固定負債	3,217,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,159,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,729
(6) リース債務	-
2 流動負債	465,070
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	334,328
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	91,895
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	812,974
(1) 長期前受金	1,754,165
(2) 長期前受金収益化累計額( )	941,191
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,112,980
1 本金	8,782,968
2 剰余金	-2,669,988
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,669,988
負債・資本合計	10,608,791
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	245,102	330,343
資本勘定繰入	163,782	307,725
計	408,884	638,068

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	328.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		国民健康保険上矢作病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,238 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	56	44.0	46.6	51.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	44.0	46.6	51.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.0	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	29,664,124	
標準財政規模(千円)	17,627,424	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	818,287			
1 経常収益	818,287			
(1) 医業収益	671,513			
(うち修正医業収益)	605,276			
入院収益	294,445			
外来収益	265,525			
診療収入計	559,970			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	111,543			
(うち他会計負担金)	66,237			
(2) 医業外収益	146,774			
(うち国・都道府県補助金)	2,409			
(うち他会計補助・負担金)	131,846			
(うち長期前受金戻入)	6,538			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	866,326			
2 経常費用	866,326			
(1) 医業費用	836,821			
職員給与費	527,767	78.6	58.7	78.7
材料費	128,520	19.1	26.9	14.5
(うち薬品費)	103,880	15.5	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,955	3.6	11.7	6.1
減価償却費	52,075	7.8	8.5	11.8
経費	127,021	18.9	21.5	32.3
(うち委託料)	89,643	13.3	11.5	15.3
研究研修費	790			
資産減耗費	648			
(2) 医業外費用	29,505			
(うち支払利息)	795	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-48,039			
純損失	-48,039			
累積欠損金	179,131			
経常収支比率	94.5		96.5	96.4
医業収支比率	80.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	72.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	29.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	24.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	71.6		85.4	73.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,608,791
1 固定資産	6,985,725
(1) 有形固定資産	6,352,227
(2) 無形固定資産	192,936
(3) 投資その他の資産	440,562
2 流動資産	3,623,066
(1) 現金及び預金	2,896,668
(2) 未収金及び未収収益	714,795
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,603
3 繰延資産	-
負債合計	4,495,811
1 固定負債	3,217,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,159,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,729
(6) リース債務	-
2 流動負債	465,070
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	334,328
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	91,895
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	812,974
(1) 長期前受金	1,754,165
(2) 長期前受金収益化累計額( )	941,191
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,112,980
1 本金	8,782,968
2 剰余金	-2,669,988
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,669,988
負債・資本合計	10,608,791
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,083	198,083
資本勘定繰入	21,935	21,935
計	215,018	220,018

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	328.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		土岐市			
病院名		土岐市立総合病院・駄知診療所			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	350	28.8	28.3	28.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	28.8	28.3	28.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.1	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	55,348	
決算規模(千円)	24,775,495	
標準財政規模(千円)	13,634,155	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,008,675			
1 経常収益	978,675			
(1) 医業収益	3,438			
(うち修正医業収益)	3,438			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	3,438			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	975,237			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	710,055			
(うち長期前受金戻入)	250,465			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,106,342			
2 経常費用	1,076,342			
(1) 医業費用	844,591			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	265,385	7719.2	8.5	8.5
経費	578,995	16841.0	21.5	21.3
(うち委託料)	6,884	200.2	11.5	11.7
研究研修費	49			
資産減耗費	162			
(2) 医業外費用	231,751			
(うち支払利息)	16,907	491.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	30,000			
損益	経常損益	-97,667		
	純損益	-97,667		
累積欠損金	7,131,625			
経常収支比率	90.9		96.5	95.9
医業収支比率	0.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	0.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	72.6		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	20653.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	70.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	25.0		85.4	86.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,748,067
1 固定資産	4,246,024
(1) 有形固定資産	4,232,046
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	13,978
2 流動資産	502,043
(1) 現金及び預金	452,187
(2) 未収金及び未収収益	53,515
(3) 貸倒引当金( )	3,659
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,950,639
1 固定負債	731,173
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	731,173
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	494,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	247,774
(2) その他の企業債	135,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,186
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	724,506
(1) 長期前受金	1,722,458
(2) 長期前受金収益化累計額( )	997,952
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,797,428
1 資本金	9,499,294
2 剰余金	-6,701,866
(1) 資本剰余金	429,759
(2) 利益剰余金	-7,131,625
負債・資本合計	4,748,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,301	710,055
資本勘定繰入	70,045	240,809
計	74,346	950,864

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	207435.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		飛騨市			
病院名		国民健康保険飛騨市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,237 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	54	71.3	73.0	72.7
療養	27	75.7	81.0	75.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	81	72.7	75.7	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	20.5	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	22,538	
決算規模(千円)	24,515,477	
標準財政規模(千円)	10,568,473	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,660,933			
1 経常収益	1,621,169			
(1) 医業収益	1,209,367			
(うち修正医業収益)	1,171,376			
入院収益	629,462			
外来収益	458,747			
診療収入計	1,088,209			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	121,158			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	411,802			
(うち国・都道府県補助金)	10,369			
(うち他会計補助・負担金)	267,197			
(うち長期前受金戻入)	45,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,764			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,720,443			
2 経常費用	1,692,943			
(1) 医業費用	1,455,523			
職員給与費	719,931	59.5	58.7	78.7
材料費	126,217	10.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	53,648	4.4	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,686	5.8	11.7	6.1
減価償却費	166,831	13.8	8.5	11.8
経費	438,019	36.2	21.5	32.3
(うち委託料)	143,978	11.9	11.5	15.3
研究研修費	2,532			
資産減耗費	1,993			
(2) 医業外費用	237,420			
(うち支払利息)	5,577	0.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	27,500			
損益	-71,774			
純損益	-59,510			
累積欠損金	578,913			
経常収支比率	95.8		96.5	96.4
医業収支比率	83.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	80.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	18.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	77.7		85.4	73.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,093,589
1 固定資産	1,395,087
(1) 有形固定資産	1,395,087
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,698,502
(1) 現金及び預金	1,300,881
(2) 未収金及び未収収益	384,553
(3) 貸倒引当金( )	258
(4) 貯蔵品	7,927
3 繰延資産	-
負債合計	985,377
1 固定負債	393,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	393,963
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	301,575
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	83,994
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,941
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	157,640
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	289,839
(1) 長期前受金	1,011,223
(2) 長期前受金収益化累計額( )	721,384
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,108,212
1 資本金	2,133,448
2 剰余金	-25,236
(1) 資本剰余金	139,450
(2) 利益剰余金	-164,686
負債・資本合計	3,093,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	311,554	305,188
資本勘定繰入	33,200	49,059
計	344,754	354,247

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		郡上市市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,089 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	100	81.4	77.0	80.5
療養	50	9.8	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	74.0	77.0	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	30,322,182	
標準財政規模(千円)	17,908,066	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	68.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,776,497			
1 経常収益	2,765,590			
(1) 医業収益	2,323,928			
(うち修正医業収益)	2,287,443			
入院収益	1,207,412			
外来収益	935,810			
診療収入計	2,143,222			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	180,706			
(うち他会計負担金)	36,485			
(2) 医業外収益	441,662			
(うち国・都道府県補助金)	73,034			
(うち他会計補助・負担金)	327,855			
(うち長期前受金戻入)	29,273			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,907			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,116,572			
2 経常費用	3,076,288			
(1) 医業費用	2,914,042			
職員給与費	1,586,976	68.3	58.7	67.7
材料費	407,306	17.5	26.9	18.3
(うち薬品費)	220,717	9.5	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,374	7.2	11.7	9.1
減価償却費	248,008	10.7	8.5	10.3
経費	665,526	28.6	21.5	29.4
(うち委託料)	239,587	10.3	11.5	13.6
研究研修費	3,399			
資産減耗費	2,827			
(2) 医業外費用	162,246			
(うち支払利息)	71,131	3.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	40,284			
損益	-310,698			
純損益	-340,075			
累積欠損金	2,364,106			
経常収支比率	89.9		96.5	95.4
医業収支比率	79.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	78.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	78.1		85.4	79.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,671,809
1 固定資産	6,007,968
(1) 有形固定資産	6,004,577
(2) 無形固定資産	2,578
(3) 投資その他の資産	813
2 流動資産	663,841
(1) 現金及び預金	31,367
(2) 未収金及び未収収益	618,598
(3) 貸倒引当金( )	24,294
(4) 貯蔵品	38,167
3 繰延資産	-
負債合計	6,087,402
1 固定負債	3,874,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,257,705
(2) その他の企業債	603,885
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	12,902
2 流動負債	1,817,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,009
(2) その他の企業債	13,879
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,603
(6) リース債務	7,103
(7) 一時借入金	393,151
(8) 未払金及び未払費用	297,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	394,996
(1) 長期前受金	975,051
(2) 長期前受金収益化累計額( )	580,055
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	584,407
1 本金	4,054,711
2 剰余金	-3,470,304
(1) 資本剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-3,493,197
負債・資本合計	6,671,809
不良債務	709,064
実質資金不足額	709,064
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,969	364,340
資本勘定繰入	192,301	165,392
計	523,270	529,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	709,064	21.6
令和4年度	323,520	9.3
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	1,312,949
地財法上の資金不足比率(%)	40.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		県北西部地域医療センター国保白鳥病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	46	73.1	69.0	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	46	73.1	69.0	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	19.7	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	30,322,182	
標準財政規模(千円)	17,908,066	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	68.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,189,520			
1 経常収益	1,189,507			
(1) 医業収益	953,636			
(うち修正医業収益)	935,245			
入院収益	426,619			
外来収益	367,436			
診療収入計	794,055			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	159,581			
(うち他会計負担金)	18,391			
(2) 医業外収益	235,871			
(うち国・都道府県補助金)	34,067			
(うち他会計補助・負担金)	168,292			
(うち長期前受金戻入)	24,643			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,249,532			
2 経常費用	1,246,548			
(1) 医業費用	1,211,486			
職員給与費	804,228	84.3	58.7	89.5
材料費	96,576	10.1	26.9	13.4
(うち薬品費)	30,179	3.2	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,229	5.9	11.7	5.5
減価償却費	62,439	6.5	8.5	14.0
経費	243,297	25.5	21.5	46.3
(うち委託料)	72,989	7.7	11.5	22.2
研究研修費	3,550			
資産減耗費	1,396			
(2) 医業外費用	35,062			
(うち支払利息)	9,839	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	2,984			
損益	-57,041			
純損益	-60,012			
累積欠損金	1,129,091			
経常収支比率	95.4		96.5	97.3
医業収支比率	78.7		86.0	60.9
修正医業収支比率	77.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	15.7		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	80.4		85.4	63.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,671,809
1 固定資産	6,007,968
(1) 有形固定資産	6,004,577
(2) 無形固定資産	2,578
(3) 投資その他の資産	813
2 流動資産	663,841
(1) 現金及び預金	31,367
(2) 未収金及び未収収益	618,598
(3) 貸倒引当金( )	24,294
(4) 貯蔵品	38,167
3 繰延資産	-
負債合計	6,087,402
1 固定負債	3,874,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,257,705
(2) その他の企業債	603,885
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	12,902
2 流動負債	1,817,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,009
(2) その他の企業債	13,879
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,603
(6) リース債務	7,103
(7) 一時借入金	393,151
(8) 未払金及び未払費用	297,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	394,996
(1) 長期前受金	975,051
(2) 長期前受金収益化累計額( )	580,055
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	584,407
1 本金	4,054,711
2 剰余金	-3,470,304
(1) 資本剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-3,493,197
負債・資本合計	6,671,809
不良債務	709,064
実質資金不足額	709,064
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,096	186,683
資本勘定繰入	72,597	69,292
計	262,693	255,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	709,064	21.6
令和4年度	323,520	9.3
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	1,312,949
地財法上の資金不足比率(%)	40.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	下呂市				
病院名	下呂市立金山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	41.9	46.2	57.5
療養	49	40.9	44.9	41.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	41.4	45.5	49.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.4	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,428	
決算規模(千円)	25,287,434	
標準財政規模(千円)	13,653,569	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	1.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,289,165			
1 経常収益	1,289,165			
(1) 医業収益	829,538			
(うち修正医業収益)	793,244			
入院収益	362,596			
外来収益	377,868			
診療収入計	740,464			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	89,074			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	459,627			
(うち国・都道府県補助金)	4,372			
(うち他会計補助・負担金)	415,764			
(うち長期前受金戻入)	22,120			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,300,357			
2 経常費用	1,300,357			
(1) 医業費用	1,244,105			
職員給与費	701,582	84.6	58.7	78.7
材料費	121,037	14.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	36,940	4.5	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,376	9.8	11.7	6.1
減価償却費	86,091	10.4	8.5	11.8
経費	326,324	39.3	21.5	32.3
(うち委託料)	157,951	19.0	11.5	15.3
研究研修費	1,658			
資産減耗費	7,413			
(2) 医業外費用	56,252			
(うち支払利息)	10,523	1.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-11,192			
純損益	-11,192			
累積欠損金	1,808,117			
経常収支比率	99.1		96.5	96.4
医業収支比率	66.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	63.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	54.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	35.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	64.4		85.4	73.0

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,985,554
1 固定資産	1,758,749
(1) 有形固定資産	1,702,873
(2) 無形固定資産	9,354
(3) 投資その他の資産	46,522
2 流動資産	226,805
(1) 現金及び預金	54,600
(2) 未収金及び未収収益	164,079
(3) 貸倒引当金( )	638
(4) 貯蔵品	3,764
3 繰延資産	-
負債合計	2,067,754
1 固定負債	1,247,719
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,060,874
(2) その他の企業債	186,845
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	295,629
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,143
(2) その他の企業債	8,238
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,997
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	130,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	524,406
(1) 長期前受金	742,527
(2) 長期前受金収益化累計額( )	218,121
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-82,200
1 資本金	1,682,331
2 剰余金	-1,764,531
(1) 資本剰余金	26,366
(2) 利益剰余金	-1,790,897
負債・資本合計	1,985,554
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	82,200
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	508,867	452,058
資本勘定繰入	53,300	53,300
計	562,167	505,358

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	218.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	163,526
地財法上の資金不足比率(%)	19.7

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	関ヶ原町		
病院名	国保関ヶ原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,610	
決算規模(千円)	4,161,412	
標準財政規模(千円)	2,950,545	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	19.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,219			
1 経常収益	11,219			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,219			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,219			
2 経常費用	11,219			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	-	-	8.5	11.8
経費	-	-	21.5	32.3
(うち委託料)	-	-	11.5	15.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,219			
(うち支払利息)	11,219	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	96.4
医業収支比率	-		86.0	72.4
修正医業収支比率	-		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	73.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,635	-
資本勘定繰入	28,793	-
計	34,428	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東白川村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,016	
決算規模(千円)	3,132,618	
標準財政規模(千円)	1,777,967	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	107.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.8
	将来負担比率(%)	32.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	151			
1 経常収益	151			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	151			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	151			
2 経常費用	151			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	151			
(うち支払利息)	151	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	63.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	7,090
1 固定資産	7,090
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	7,090
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,090
1 固定負債	7,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,090
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	7,090
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	98	-
資本勘定繰入	413	-
計	511	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東濃中部病院事務組合		
病院名	公立東濃中部医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	95,499	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	72.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	163,582			
1 経常収益	160,697			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	160,697			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	160,292			
(うち長期前受金戻入)	400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,885			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,133			
2 経常費用	138,248			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	-
材料費	-	-	26.9	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	-
減価償却費	-	-	8.5	-
経費	-	-	21.5	-
(うち委託料)	-	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	138,248			
(うち支払利息)	358	-	0.9	-
(3) 特別損失	2,885			
経常損益	22,449			
純損益	22,449			
累積欠損金	-			
経常収支比率	116.2		96.5	119.5
医業収支比率	-		86.0	-
修正医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	99.7		11.5	99.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	-
他会計繰入金対総収益比率	98.0		11.5	98.8
実質収益対経常費用比率	0.3		85.4	0.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,152,378
1 固定資産	1,930,225
(1) 有形固定資産	1,929,025
(2) 無形固定資産	1,200
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	222,153
(1) 現金及び預金	149,848
(2) 未収金及び未収収益	72,305
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,117,279
1 固定負債	335,530
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	335,530
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,218,475
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,175,332
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	563,274
(1) 長期前受金	564,074
(2) 長期前受金収益化累計額( )	800
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	35,099
1 本金	24,590
2 剰余金	10,509
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	10,509
負債・資本合計	2,152,378
不良債務	958,182
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239	160,292
資本勘定繰入	699,296	157,787
計	699,535	318,079

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	958,182	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。